

# 「学びの支援サイト」の学習コンテンツを活用した家庭学習の流れ

## 学校

- 1 児童・生徒が、家庭において学習コンテンツを活用するための準備を行う。
  - ・ 家庭学習の「時間割」を作成する。 <資料(1)を参照>
  - ・ 時間割の中にある各「コンテンツ」の時間に活用する「動画教材」や「ドリル教材」を明確にしておく。 <資料(2)を参照>
- 2 活用方法の説明資料を作成し、学校のホームページへの掲載などを行う。
 

児童・生徒が、「学びの支援サイト」内にある学習コンテンツを活用して学習を進められるようにする。

## 学校（臨時休業終了後）

- ・ 児童・生徒から提出されたドリル教材やノート  
の記述から、取組状況を確認する。
- ・ 特に定着していない学習内容については、個別  
指導を行うなど工夫する。

## 家庭

児童・生徒は、「時間割」に沿って、学習コンテンツを活用した家庭学習を行う。 <配慮事項は、資料(3)を参照>

### 家庭学習例（1） ※ 1 単位時間で一つの学習内容

（使用教材）NHK for school [動画教材]

東京ベーシック・ドリルなどの問題 [ドリル教材]

#### （学習の進め方）

- ① 「NHK for school」の動画にある説明文を読む。
- ② 動画を見る。
- ③ 動画を見終えたら、動画に関連する問題に取り組む。分からないときは、教科書を見たり、動画を見直したりする。
- ④ 答え合わせをする。間違えた問題や分からなかった問題は、教科書や動画を見て、できるようにする。
- ⑤ ドリル教材の空いているところに、動画を見た感想や気付いたことを記入する。

### 家庭学習例（2） ※ 1 単位時間で二つの学習内容

（使用教材）NHK for school [動画教材]

#### （学習の進め方）

- ① 「NHK for school」の動画にある説明文  
を読む。
- ② 動画を見る。
- ③ 動画を見て、理解できなかったことがあ  
たときは、教科書などで調べて理解する。
- ④ ノートに、動画を見た感想や気付いたこ  
とを記入する。
- ⑤ 二つ目の学習内容についても、①～④の学  
習の流れで家庭学習を行う。

### NHK for school

「学びの支援サ  
イト」内にリンクが  
貼られている「学  
習支援コンテンツ  
ポータルサイト」  
（文部科学省）に  
掲載されている。

### 東京ベーシック・ ドリル

「学びの支援サ  
イト」に掲載してい  
る。